

## 東北信ニュース

# 高校生にコンクリート実習

## 県須坂建と技士会須坂

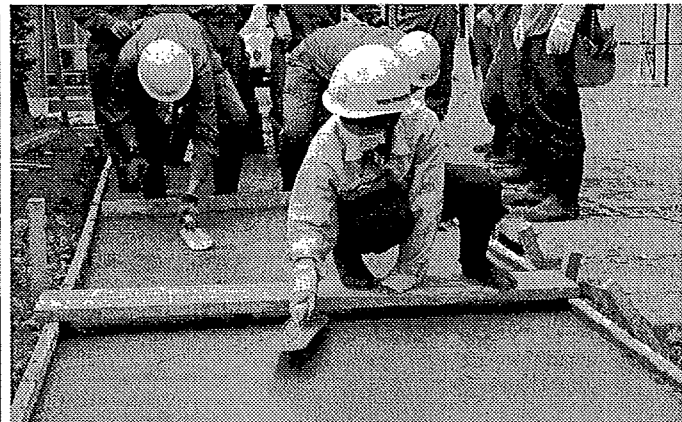
県須坂建設事務所と長野県土木施工管理技士会須坂支部(市川勇人支部長)は12日、長野県須坂園芸高校3年生を対象にコンクリート型枠の実習を行った。

参加したのは、須坂園芸高校造園科環境工学コース・緑地計画コース・造園技術コースの3年生38人(うち女子生徒10人)。技士会からは資格保持者10人が指導にあたった。

実習では、平板づくりと土間コンクリート打ちを実施。平板づくりでは、木枠にコンクリートを流し込み、コテで平らにする作業を行った。

土間コンクリート打ちでは、前日に支部会員が掘った場所で鉄筋を組んでコンクリートを打設。生徒たちは鉄筋組みに四苦八苦し、生コンをスコップで全体にならしていた生徒は「チョー重い」と声を上げていた。またコテで表面を平らにしていた女子生徒は「どうしてだろう。きれいにならない」と難しさを実感していた。

技士会の市川支部長は生徒たちに「半日の作業で良く出来た。縁があったら地元建設業に就職してほしい」と呼びかけていた。



㊤土間コンクリート打ち ㊦平板づくり

